

第百三十六回国会 参議院大蔵委員会 會議録第十二号

平成八年五月九日(木曜日)
午後零時七分開会

委員の異動

五月八日

辞任

佐藤 泰三君
志苦 裕君

補欠選任

阿部 正俊君
伊藤 基隆君

出席者は左のとおり。

委員長
理事

片山虎之助君

委員

阿部 正俊君

大河原太一郎君

金田 勝年君

清水 達雄君

須藤良太郎君

西田 吉宏君

猪熊 重二君

海野 義孝君

白浜 一良君

益田 洋介君

渡辺 孝男君

伊藤 基隆君

峰崎 直樹君

吉岡 吉典君

山口 哲夫君

國務大臣

大蔵大臣

久保 亘君

政府委員

大蔵政務次官

大蔵省主計局次

長

事務局側

常任委員会専門

員

山崎 正昭君

伏屋 和彦君

小林 正三君

本日の會議に付した案件

○平成八年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案(内閣提出、衆議院送付)

○委員長(片山虎之助君) ただいまから大蔵委員会を開会いたします。

まず、委員の異動について御報告いたします。昨日、志苦裕君及び佐藤泰三君が委員を辞任され、その補欠として伊藤基隆君及び阿部正俊君が選任されました。

○委員長(片山虎之助君) 平成八年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案を議題といたします。

本案に対する質疑は去る四月二十六日に終局いたしましたので、これより討論に入ります。御意見のある方は賛否を明らかにしてお述べ願います。

○吉岡吉典君 日本共産党を代表して、平成八年度公債発行特例法案に対し、反対の討論を行います。

本法案は、平成八年度予算の財源として、十二兆円を上回る大量の赤字国債を発行するものであります。これに建設国債の発行を合わせると平成八年度の国債発行は総額二十一兆円を超え、七〇年代後半から八〇年代にかけての財政危機を上回

り戦後最大規模となります。これにより歳出に占める国債依存度は二八%、年度末の国債発行残高は二百四十一兆円にも達する見込みであります。

この財政危機をもたらした原因は、景気対策の名の公共事業の大盤振る舞いや、軍事費の大幅増額など安易で放漫な財政運営にあることは明らかであります。乱脈経営によって破綻した金融機関に對して、その原因や責任を追及する前に、公的資金支出を予算に計上するなどは、無責任な財政運営の最たるものであります。

政府は、みずから招いた財政破綻に對して、責任を持って再建の方策を示すべきであり、これを福祉の切り捨てや消費税増税など、国民の負担で乗り切ることとは断じて認められません。

以上の理由から、本法案に對して反対の態度をとるものであります。

○委員長(片山虎之助君) 他に御意見もないようですから、討論は終局したものと認めます。

平成八年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案に賛成の方の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長(片山虎之助君) 多数と認めます。よって、本案は多数をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査報告書の作成につきましては、これを委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○委員長(片山虎之助君) 御異議ないと認め、さよう決定いたします。

本日はこれにて散会いたします。

午後零時十分散会

平成八年五月二十一日印刷

平成八年五月二十二日発行

参議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局